

点描くんま経済

日銀支店長

見聞録

■110■

先日、神奈川から遊びに来た友人たちと一緒に榛名山に登った。最も寒さの厳しい時期なので、天候次第では諦める覚悟だったが、日頃の行いが良いのか晴天で寒さも緩んだ日だった。

午前8時に高崎駅に集合。バスに乗り榛名山を目指す。登山が目的であれば榛名湖まで行くのが近道だが、安全祈願のため榛名神社で下車した。参道にはさまざまな講（宗教的な共同組織）からの寄進物が並んでいる。寄進物にはブラシ（はけ）をかたどった物や、きこりが使う大きなのこぎりもあり、宗教上の

冬の榛名山観光

講が当時の職業や経済とも密接に関係していたことを物語っている。

昔から多くの人々が、経済的な豊かさも含めて榛名神社にその願い寄せてきたのだ。

自然、食：魅力を紹介

辛い感染症もくうれしい冬の一日だった。

巨大な岩の間を縫うように進んで到着した社殿はまだ改修中だったが、一部は完了している見事な装飾彫刻が施された門を見ることができた。前橋に着任して以来四度目の参拝だが、関東屈指のパワースポットと言われるだけあって、お参りするたびに元気になる場所だ。

は少なく、しんと静まった中で自分たちの声だけが聞こえる。掃部ヶ岳の登山道に入ると、急こう配が続いて

湖畔まで下山したら、収束に向かっているようだ。今まで以上に多くの人が、群馬の旅を安心して楽しめることを願っている。

肥後秀明（ひご・ひであき） 1969年生まれ。茨城県出身。東京大経済学部卒。92年に日本銀行入行後、金融機構局審査企画課長兼上席審査役、金融機構局審査連営課長兼上席審査役などを



を経て2022年4月から現職。

お参りを終えたら榛名川沿いの登山道へ入る。すぐに氷瀑に覆われた砂防ダムが見える。川面も氷で覆われ、左右の山肌の滝も凍っている。氷の景色と友人たちとの会話を楽しみながら榛名湖畔を目指す。

湖畔に着いたら西へ。冬季なので観光客の景色が美しかった。アールガイドとなった私にとっても楽しい旅だった。「神社十登山十温泉十 pasta」と盛りだくさん。友人たちは群馬の魅力を存分に味わって「また来たい！」と言ってくれた。にわか

息が上がり会話は一時中断。雪が増えたので軽アイゼンを装着して登り続ける。氷に覆われた榛名湖が眼下に見えたらもうすぐ山頂だ。日帰りの旅だったが

お参りするたびに元気になる場所だ。